

BUSINESS REPORT

第18期 中間株主通信

2014年4月1日 ▶ 2014年9月30日



株式会社バイ・テクノロジー
(証券コード:7717)

イノベーションで、
想像を超える、未来へ。

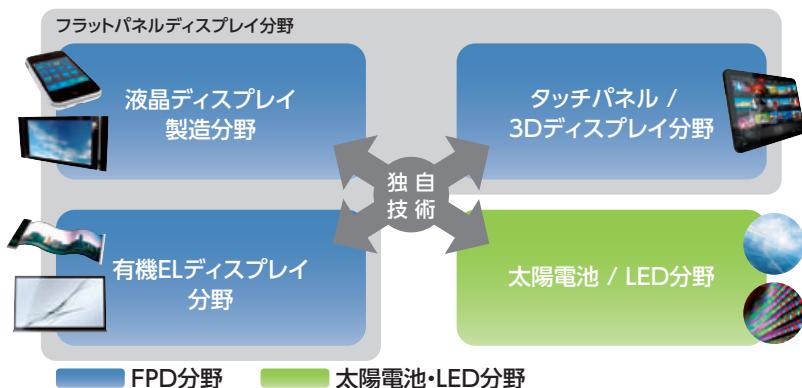
Innovation

このコーポレートスローガンは「イノベーションの創造によるお客様と社会への貢献、そしてイノベーションで豊かな未来を皆様と共に切り拓いていく」という想いが込められています。

フラットパネルディスプレイの進化に貢献します。

当社は、FPD(フラットパネルディスプレイ)黎明期の1997年にFPD装置メーカーとして設立されました。以来、FPD製造、特に液晶ディスプレイ製造装置と検査装置の開発、製造、販売、サービスを主要な事業と位置付けております。

一方で、既存の事業領域とシナジー効果が見込める、FPD応用製品(タッチパネル・3Dテレビ等)、有機ELディスプレイ、及び太陽電池やLEDの製造に関わるお客様に貢献する製品の開発にも積極的に取り組んでおります。



| トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第18期(2015年3月期)第2四半期の当社グループの決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

当社グループの関連するFPD市場では、主に中国における、スマートフォン及びタブレット端末向けの中小型液晶パネルの設備投資を中心に、テレビ向け大型パネルに関する設備投資等も継続されました。

このような環境の中、当社グループは、検査関連装置については主に中国向け案件での商談成約に向けた活動を、露光装置及び有機EL関連装置については国内外のパネルメーカーへ拡販活動を行ってまいりました。

受注金額は、主に中国及び日本向けの検査関連装置、中国向けの露光装置並びに関連消耗部品及びメンテナンス等の受注により、126億3千8百万円(前年同期は56億1千6百万円)となりました。なお、受注残高は150億6千5百万円(前年同期は57億6千2百万円)となりました。当第2四半期連結累計期間の売上高は41億3千9百万円(前年同期は63億6百万円)、営業損失は6億1千9百万円

(前年同期は営業利益3億4千8百万円)、経常損失は5億6千4百万円(前年同期は経常利益3億4千9百万円)、四半期純損失は3億2千1百万円(前年同期は四半期純利益1億7千8百万円)となりました。なお、2009年9月に付与した新株予約権が権利不行使により失効したため、新株予約権戻入益9千6百万円を特別利益に計上しております。当第2四半期連結累計期間に売上計上した装置案件には大型ライン受注案件が含まれていないため、上記の通り損失を計上しておりますが、これは年度初における計画通りであります。

配当につきまして当社の基本方針は、将来の事業拡大や経営基盤強化のために必要な内部留保の充実を図りつつ、配当の安定性・継続性を考慮の上、経営成績に応じた利益還元を行うこととしております。具体的には配当性向10%以上を目標とし、今後の事業環境(収益、投資、研究開発支出など)を勘案し配当を決定しております。この度は当方針に基づき中間配当金を1株につき18.75円といたしました。年間では1株につき37.5円を予定しております。

今後も、当社グループは株主の皆様のご期待に沿えるよう、持続的成長による企業価値の最大化を目指した経営を進め、業績の向上を図ります。そして、大いなる志と溢れる情熱で世界最高のイノベーションを創造し社会に貢献していく所存です。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2014年11月



代表取締役社長
杉本 重人

売上高 (百万円)



経常利益／純利益 (百万円)



経常利益率 (%)



総資本回転率 (回)



1株当たり純利益／1株当たり株主資本 (円)



ROE (%)



● 2015年3月期(第18期)の業績見通し

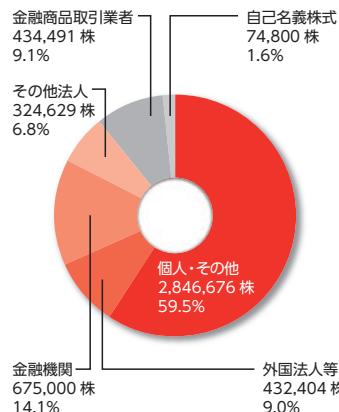
	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり当期純利益 (円)
前回発表見通し	21,000	2,300	2,250	1,200	円 銭 256.45
今回発表見通し	18,000	1,000	950	550	117.32
(ご参考) 前期実績	13,075	407	435	223	47.86

パネルメーカーの設備投資時期の延伸及び新設工場の建設工事の遅れなどにより、前回、2014年8月8日時点において今期の売上に計上見込みであった案件の一部について今期の売上計上を断念せざるを得なくなりました。売上高及び利益の減少を最小限に食い止めるべく受注活動に努めましたが減少分を吸収できず、今回の業績見通しの修正となりました。

※業績見通しについては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいております。予想にはさまざまな不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素により業績予想とは異なる場合があることをご承知おきください。

株式の状況 (2014年9月30日現在) Stock Information

- 発行可能株式総数 17,590,300株
- 発行済株式総数 4,788,000株
- 株主数 6,152名
- 株式所有者別分布



大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
杉本重人	544,300株	11.4%
新菱冷熱工業株式会社	233,300株	4.9%
日本証券金融株式会社	181,800株	3.8%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	127,500株	2.7%
ジェーピーモルガンチェースバンク385181	86,900株	1.8%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	85,200株	1.8%
株式会社SBI証券	83,700株	1.8%
ザ バンク オブ ニューヨーク メロン 140030	76,000株	1.6%
クレディ・スイス・セキュリティーズ (ヨーロッパ)リミテッド ピーピー オムニバス クライアント アカウント	53,600株	1.1%
KGI ASIA LIMITED-CLIENT ACCOUNT	46,500株	1.0%

当社は自己株式74,800株を保有しておりますが、上記から除いております。持株比率は、自己株式を控除して算出しております。

株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月に開催
- 配当金受領株主確定日
 - ・期末配当金 3月31日
 - ・中間配当金 9月30日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関
 - ・同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
 - ・同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
- 上場証券取引所 東京証券取引所 (証券コード 7717)
- 公告の方法 電子公告とします。但しやむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。公告掲載の当社ホームページアドレス <http://www.vtec.co.jp>
- 株式の分割 単元株式制度採用に伴い、2014年3月31日(月)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主が所有する普通株式を、1株につき100株の割合をもって2014年4月1日付で分割いたしました。

(ご注意)

- 1.株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

会社の概要 (2014年9月30日現在) Company Profile



社 名 : 株式会社ブイ・テクノロジー
設 立 : 1997年10月16日
本 社 所 在 地 : 横浜市保土ヶ谷区神戸町134 YBPイーストタワー9F
TEL : 045-338-1980 FAX : 045-338-1781

役員

代表取締役社長	杉本重人
専務取締役	梶山康一
取締役	和田正
取締役	勝原隆

常勤監査役	大倉修和
監査役	吾田啓一郎
監査役	住田勲勇

海外拠点

